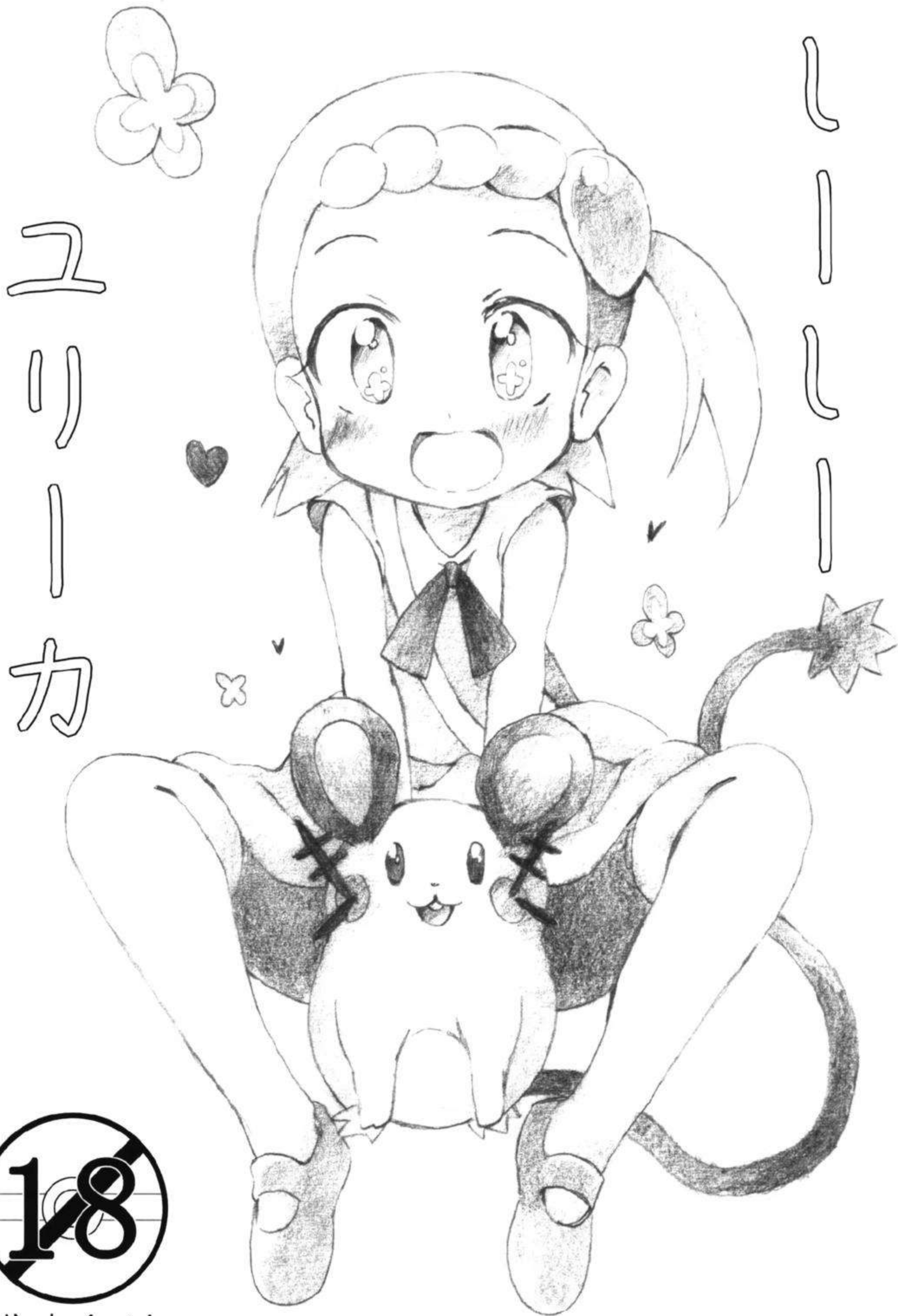




成人向け



ユリーカ「おにいちやん、」

わたし、おしっこ、」

シトロン「ええっ！ユリーカ、さっき

ポケモンセンターで済まして

こなかったのかい!？」

ユリーカ「いったよう、」

シトロン「すみませんサトシ、

少々外してきますね、」

サトシ「おう！やつくりしてこいよ！」

セレナ「サトシ！それデリカシーない！」



シ「ユリーカ、」さてはサイコ
ソーダの飲みすぎだな？」

ユ「うん、」

ごめんなさい、」

謝ることはないだろう？

じゃあ脱ぎましょうね

ユリーカ」





ユ「……おにいちゃん、なんだか

おしっこでないよう、……」

シ「……ええっ！ さっきまで

したがってたじゃないか！」

シ「外だから緊張したのかな？」

しかたないなあ、……ユリーカの

おしっこ穴、すこし刺激してあげましょうね」

ユ「あつ……！ おにいちゃん、ぴりぴりするよう、……」

シ「おまめさんむくりくり
しましうね、、、

ほらどうだい？ユリーカ」

ユ「あああああつ！
おにいちゃんの指、、、

わたしのおまた
くにくにつてしてるよう、、、

シ「はら、、、ユリーカの

おま〇こ、もうトロトロ

だぞ、、、」

ユ「おにつ、おにいちゃん！
もうだめつ、おしっこ！

おしっこ出そうだよー！」



ユ「あつ、おにいちゃんっ!？」

!

シ「さあユリーカ、ちやーんと出しちやうんだぞー」

ユ「あつ、あああつ、、、！でる、おしっこでるよう、、、！」



シ「しょうがないなあユリーカは、、、。
ほら、僕のち○ぽだぞ」

ユ「わあ！お兄ちゃんおち○ちん、
今日すごい元気！もうぎんぎんになってる！



ユ「ねえお兄ちゃん、、、私、もうおなかが熱いの、、、
おち○ちん、出して？」

シ「ユリーカ!?まさかここで最後までするの!?」

ユ「お兄ちゃん、おねがい、、、。もうおまたじんじん
してて、我慢できないの、、、。」



シ「それじゃあいくぞ、ユリーカ」

ユ「うんっ！きてっ！お兄ちゃんの

おち○ちん、はやくいれてっ♡

一緒にきもちよくないたいの！」

ユ「あああああっ！おにいちゃんっ♡

おにいちゃんのおち○ちん、はいつてる♡

わたしのおまたにはいつてきてるよお♡





シ「今日のユリーカ、良い具合だなあ。いいぞ！
僕の妹は最高だな！」

ユ「はああああっ！あっ！おにいちゃん！奥まできてるよお♡
わたしの奥、ごりごりーっマしてるの♡」



シ「うっ、、、ユリーカ、、、僕、
もうイキそうだよ、、、！」

ユ「うんっ！お兄ちゃん！
わたしも、わたしもきもちよすぎて
すぐイっちゃうよ！イク♡
イクよお兄ちゃん！」

シ「うっ、っ、っ！もう射精るぞ！

僕の精液、たっぷりと流し込んでやるからな！
っ、っ、シトロニックギア、オー——ン！」

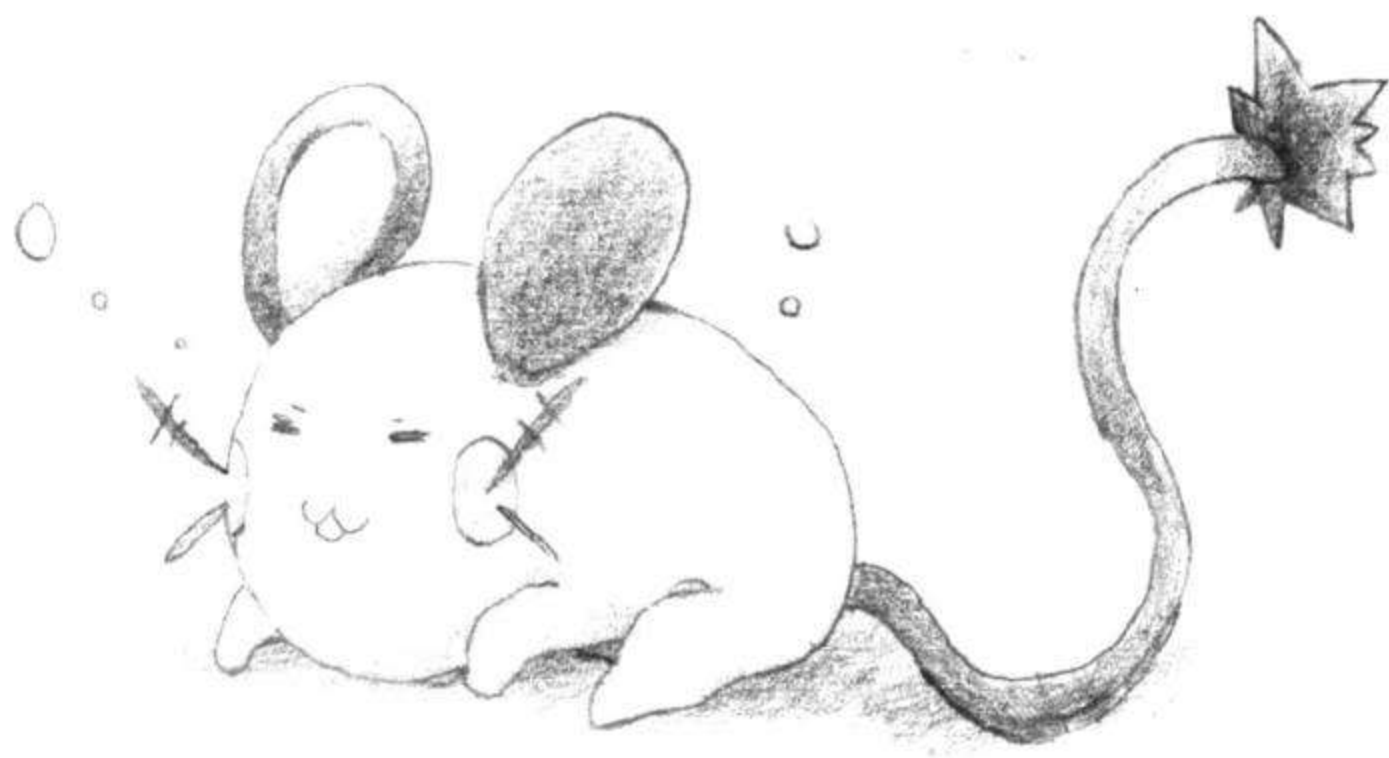
シ「どうだいユリーカ、満足できたかい」

ユ「うんっ、っ、あったかくて
きもちよくて、ぼわぼわする、っ、っ。」

ユ「あああああっ！でてる、わたしのナカで出てるよ！
おにいちゃあああああん、っ、っ、っ、っ。」

シ「じゃあサトシ達のところに戻る前に、
ちゃんとふきふきしような」





■ 奥付 ■

題名 しーしーユリーカ
発行 安直区
発行者 やすなお
発行日 13. 12. 31 (Tue)
連絡先 yasunao_z@yahoo. co. jp
 PIXIV id : 193686

※禁無断転載